

日本共産党は12議席 共産・立憲・社民3党全体で大きく前進

10月22日投票が行われた総選挙で、日本共産党は12議席（比例11、沖縄1区）となりました。比例代表では、前回獲得した20議席から11議席への後退となりました。大変残念な結果です。東海ブロックでは本村のぶ子氏が当選をいたしました。奮闘いただいた、赤旗読者、支持者、後援会員のみなさんに心から感謝するとともに次の国政選挙では必ずけん土重来を期す決意です。

小選挙区制の害悪くつきり

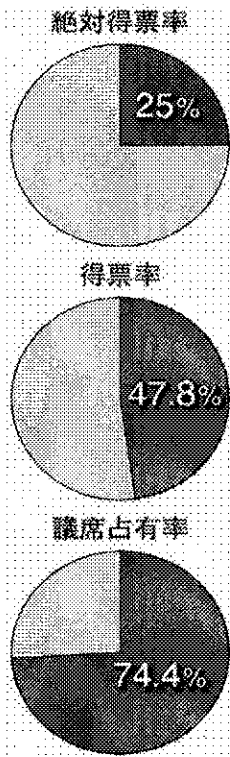
自民47%の得票で74%の議席

自民・公明の与党の獲得議席は310議席で衆議院定数（465）の3分の2をしめ「大勝」とされています。

これは選挙区で1人しか当選せず、2位以下の投票が議席に全く反映されない小選挙区中心の現在の選挙制度の害悪のあらわれです。

全有権者の中で自民党に投票した率（絶対得票率）は24・98%にすぎませでした。しかし自民党はこの小選挙区で215議席を獲得し議席占有率は74・39%にのびります。

自民党は比例での絶対得票率が、政権から転落した2009年総選挙時の18・1%を下回り続けています。12年総選挙では15・99%、14年総選挙では16・99%にとどまっています。



自民党 小選挙区での得票率と議席は…

野党共闘に効果あり

日本共産党は、総選挙直前に民進党が希望の党へ合流するという重大な逆流が生まれたものでも、市民と野党の共闘を揺るがず断固として追求しました。共闘勢力一本化のために共産党として全国67の小選挙区で候補者を降ろしてたたかい、32選挙区で野党共同の候補者が勝利しました。大儀にたった行動であったと確信するものです。

自民が圧勝？ 与党（自・公）は後退 立憲野党（共・立・社）が躍進

マスコミは「自民圧勝」と報じていますが、自民党は9議席、公明党は6議席減らし、その補完勢力である希望の党は6議席、維新の会は3議席それぞれ減らしています。

一方、今回の選挙では、日本共産党、立憲民主党、社民党の3野党が市民連合と7項目の政策合意を結び、協力・連携してたたかい立憲民主党は、16議席から、54議席に大きく増やしました。

	公示前	選挙結果	増減
自民・公明	325	310	▲15
希望・維新	71	61	▲10
共産・立憲・社民	39	68	+29

当選した本村のぶ子氏の談話



比例で当選した本村のぶ子氏
各務原市役所前で訴え

皆様に昼夜を分かたず、大奮闘をしていただいたにも関わらず、比例東海ブロックで、しまづ幸広さんの宝の議席を守りきれなかったこと、仲間

を増やせなかったことに心からお詫びを申し上げます。この間、市民+野党の本気の共闘で政治を変えようと国会内外で力を合わせてきました。しかし、選挙直前に市民+野党の共闘を分断する逆流がありました。短期間のなかで市民の皆様と最善の努力をしてきたと思います。今回は、回り道をしたかもしれません。しかし、この間の努力は、個人の尊厳を何よりも大切にす市民+野党の共闘の発展へと続いていくと信じています。

憲法を壊す動きを阻止する歴史的使命を果たすことなど責任の重さを痛感しています。いっそうのご指導を何卒お願いいたします。

